

会長 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原 一夫 06-6833-9227
事務局 〒577-0054 東大阪市高井田元町1-14-2 岡本 至弘 06-6788-2796
編集室 〒586-0039 河内長野市楠ヶ丘11-18 中川 良三 0721-65-0348
HomePage担当 〒577-0054 大阪市住之江区南港中3-3-31-520 坪井 仁志 06-6613-2836

令和7年1月（2025年） No.709

新年のご挨拶

今年も人生楽しく生きよう

会長 合原一夫

年を取ると、月日が立つのが早い、と言われますが確かにそうだと思います。1年前の1月号の OMC ニュースを見ていると、あれからもう1年が経ったのか、今年の記事は何にしようかと考え込んでしまいます。

この1年間に、鉄具嘉夫さん、中村幸子さん、そして暮には野田邦雄さんの3名の方が黄泉の国へと旅立たれました。1年のうちに3名が亡くなられること等、嘗ては無かった事です。これも会員の高齢化がじわじわと進んでいる証しかもしれません。

翻って前年度は、道下さんや高田さん等、元気のいい人達が新しい風を吹き込んだ作で例会を盛り上げて頂きました。背景には SNS などの存在があると思いますが、今年も期待しています。ともあれ残り少ない人生を、いかに過ごすか、家に閉じこもり、人との交流を自ら絶って孤独になるのだけは避けたいものです。OMC を中心に映像作品づくりを仲間とともに楽しみ、例会や二次会での交流に積極的に参加して人生を豊かにしていこうではありませんか。残りの人生を楽しく悔いのない充実した日々をしたいと言うことで新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしく願いいたします。



総会・新年会・1月例会のお知らせ

- 総会：1月25日（第4土曜日）13時より。遅れ無いよう早めにどうぞ。
- 例会：総会終了後、1月例会開始。作品ご持参ください。
- 新年会：例会場上5階レストランにて17時より、会費5千円。

昨年1年間の例会記録を纏めました

例会を円滑に運営していくためには、準備から上映、司会、記録など多くの役割が必要です。OMCでは、原則として何らかの役割を分担して共同作業で運営しています。このことが会員諸氏のクラブへの参加意識を高め、例会への出席率も上がり、例会の盛り上がりをはたしてきたと考えております。さあ、令和6年は如何だったでしょうか。次の表を御覧ください。

過去5年間の例会記録

通常例会+第2例会（令和5年度までで6年度は中止）

年度	会員数 人	出席者 人/回	出品数 本/回	総本数 本/年	通常例会 回数	第二例会 回数	コロナ禍 休会
R2	27	13.1	10.2	92	9	5	3回
R3	23	11.3	8.4	84	10	5	2回
R4	24	12.8	9.2	110	12	6	なし
R5	23	13.9	9.3	111	12	4	なし
R6	23	14.8	11.3	136	12	中止	なし

解説：R2、R3年度の総出品数は、コロナ禍で休会があったためR1年度より減少している。ちなみにR1年は会員数29名で出品総数は180本であった。R4年度はコロナ禍が収まり第2例会も加え18回の例会で総本数が増えた。

- ・令和6年度は、1回あたりの出席者と出品数が過去4年に比べ、増えている。盛会となってきた証と言えよう。
- ・令和6年度の会員数23名は、期首の人数で、期末には3名が亡くなられ20名となった。

最多出席者と最多出品者表彰

■ 最多出席者

- ・12回出席者：岩井、江村、大久保の3氏
- ・11回出席者：岡本、合原、高瀬、中川、道下、山本の6氏

■ 最多出品者

- ・18作品：道下氏、15作品：江村氏、14作品：高瀬氏、12作品：合原氏、山本氏

以上5氏

上記各氏に1月総会の席上で記念品を贈呈いたします。例会を盛り上げていただいた方々に感謝いたします。

令和7年度行事計画

新しい年が始まりました。今年も昨年以上にOMCをより楽しく充実した年にしたいものです。

1) OMC ニュース発行

昨年4月に700号記念号が発行されましたが、今年も全国一歴史と伝統のあるOMCニュースは709号から始まりました。昨年からは日本アマチュア映像作家連盟のホームページに投稿して主だったアマチュア映像作家の方たちにニュースをお届けしております。また近隣ク

ラブとの交流の源ともなっています。最も会員諸氏には原則としてメール便にて送り経費節減に努めています。

2) 公開映写会の実施

第 65 回 OMC 映像フェスティバルは、10 月を目標に準備します。会場は以前と同様近鉄布施駅前市民プラザ多目的ホールを予定しています。

3) 懐かしの映像を楽しむ会の開催

大阪アマ連主催ですが、OMC 中心で運営している会なので、今年も 7 月下旬頃を目途に布施駅前市民プラザ多目的ホールで開催します。

4) 課題コンテストの実施

1 月に発表される宮中歌会始の儀で、来年の「お題」が発表されるのにちなんで、今年も課題コンテストを実施します。5 月例会で公開コンテストを行います。

5) 撮影会の実施

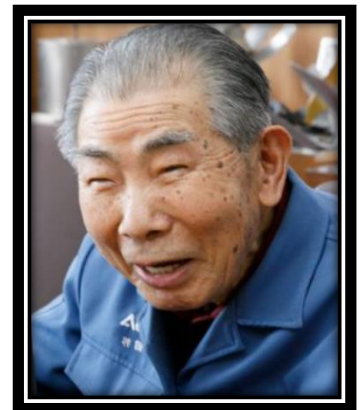
5 月か 6 月に実施しますが、担当中川、岡本両氏で和歌山県内で計画中です。

訃報

野田邦雄さんが亡くなりました

副会長 岡本至弘

OMC 会員の野田邦雄さんが、12 月 19 日永眠されました。1929 年生まれ、95 歳でした。野田会員は、OMC では長老組で、フィルム時代からの大先輩です。会報をたどりますと、2013 年（平成 25 年）10 月例会に、友人の吉村健一さんと入会されています。インターネットの縁でお二人が入られたようです。その年の 12 月例会に、作品「秋立ちて（テレシネ）」を発表されています。書記の講評によると、次のように記されています。



昭和 37 年につくられたホームムービーです。作者の若いころ 8 ミリ映画に取り組んでおられたことが判りました・・・(以下略)

このことから、古くからのベテラン作家だったようです。2 作目は、2014 年 2 月例会に「だんじり」、3 作目は、2015 年 2 月に「お笑い神事」、その後 2015 年 8 月に「望郷」、2016 年 2 月に「流通革命」ご自分が昭和 30 年ごろからはじめられた鶏卵専門の小売店を開業され、商魂の逞しさを記録映像におさめられています。その後も、数々の作品を発表されています。

野田さんは、学業を終えて、満州へ渡られ軍隊に入隊、帰国されてから、ステンレス加工会社「野田金属工業株式会社」を設立され、社長を経て相談役をされていました。激動の人生をおくられて晩年は、趣味の映像を始められていました。

野田邦雄さんは、私たち、映像の恩師であり、温厚で親しみやすくご指導していただきました。撮影会にも参加されて楽しく過ごさせていただきました。映写会には、いつも奥様とご一緒に来られていました。

著書には、「戦争に翻弄された青春」「卒寿を越えて」などがあります。ごゆっくりとお休みください。ご冥福をお祈りいたします。

1 2月例会レポート

令和6年最後の例会は、21日（土）午前中に世話役会があり、午後から引き続き行われた。流石に師走とあって気温も一桁台だったが、暖房の効いた中で、17名が出席、珍しく西村亀雄会員が今年はじめて作品持参で元気な顔を見せられた。作品は10本でした。

■ 運営担当：司会 合原、書記 岡本、YouTube関係、中川、映写 山本、植村、記録 中川、受付照明 大久保、森下、宮崎の各氏

■ 出席者：生田、岩井、植村、江村、大久保、岡本、上総、合原、高瀬、高田、坪井、中川、西村カ、道下、宮崎、森下、山本の17名の出席でした。

■ 上映作品（今月の書記は岡本氏）

1. 安乗崎 ある冬の夜明け 4分34秒 道下敏行

（作者コメント）

安乗崎（あのりざき）の夜明けを撮影した。冬の朝には200km離れた富士山や蜃気楼（浮島現象）で中に浮かぶ貨物船や、富士山が、条件が良ければ見ることができる。たまたま、訪れた時に、ラッキーにも撮影できた。

（書記コメント）

安乗崎は、三重県志摩半島の中央部に東から深く切れ込んだ矢湾の入口にある岬で、古くから安乗崎、大王崎、鎧崎をもって志摩三岬と言われ、海の難所として知られているところである。灯台は八角形木造で風光明媚な地であることから、灯台の周囲は公園として整備されている。

作者は、この安乗崎の夜明けを、前日から泊まり込での撮影行。撮影時の朝は、200km離れた富士山や行き交う貨物船が、蜃気楼（浮島現象）の中に浮き上がる情景が朝焼けに映える。夜明けが始まるにつれてのドローン撮影による情景をうまくとらえていました。鳥の声や貨物船の音をうまく使って、朝の静けさを強調した方が雰囲気がよく出たと思います。



2. 黒河道 9分40秒 山本正夢

（作者コメント）

地元では世界遺産登録で黒河道（くろこみち）を宣伝しているが気楽にハイキング気分で行ける所ではなく一人も会わなかった。もっと整備と交通の便に再考してほしい。

（書記コメント）

黒河道とは、小生あまり聞きなれない言葉だったので、ネットで調べてみたら次のように載っていた。

「黒河道は、高野七口の一つ黒河口に至る高野参詣道で、橋本街道から園城山東麓の明神が田和を超え、藁谷から九度山町の市平で丹生川を渡り、久保から高野町の粉撞峠を超え、高野山内の千手院谷に入る登山道」と載っていた。

作者は、世界遺産にもかかわらず、気楽に行ける道ではないと書いているように、よくカメラを持って行かれたものだと感心しました。貴重な映像を撮られました。ご苦労様でした。この作品も、現場音を入れられた方が良いとの意見もありました。



3. 富山湾白エビ漁 5分00秒 高田幸夫

（作者コメント）

富山湾の真珠と呼ばれて白エビの珍しい漁法を見に行つて来ました。

(書記コメント)

富山湾の白エビ漁を撮影されました。夜明けから観光船に乗っての撮影。白エビのおどり食いはさぞ美味しかったです。主に富山湾でしか見られない漁だそうです。BGMが運動会の曲のように感じました。別の曲なかったですか。



4. 祈りの文様 3分00秒 上総秀隆

(作者コメント)

日本各地の神社仏閣の襖絵などにその名を残す「宮絵師」安川如風が家庭用に描いた「祈りの文様」。その販売促進ビデオをボランティアで制作した。

(書記コメント)

ご依頼されての販売促進用ビデオだそうです。絵師さん、ご本人の映像がアップなどもう少しあればよかったですと思いました。この絵師さんをテーマの作品をお作りになられたらいいと思いました。



5. 鉄道とバスの二刀流 8分40秒 江村一郎

(作者コメント)

戦後の国鉄時代に四国を一周する鉄道として進められたが20年ほど前に民営化されると採算の面からも四国一周鉄道は夢となる。牟岐線の阿波海南駅から先は第三セクター方式で阿波東線として運営している。しかし、路線も短く利用者も少ないので当然のことながら赤字路線となっている。廃線の危機にさらされている阿波海岸鉄道の起爆剤となるべく観光と地域の活性化を図って、DMVを世界で初めて実用化した。



(書記コメント)

阿佐海岸鉄道の鉄道とバスの両様機能を備えた運航方式を撮影されたもの。観光と地域の活性化を図って、DMVを実現したものだが、廃線の危機にさらされているという実情を作品にされたもの。ナレーションがないのでよく判りにくい。

6. 真田まつり 12分00秒 岡本至弘

(作者コメント)

真田の隠里、紀州九度山では、毎年5月に二日間にわたって、昌幸、幸村を偲んで「真田まつり」が盛大に行われている。OMCの令和7年度の撮影会のテーマにならないか、参考作品として持ってきましたが、来年はまだ開催が決まっていないようだ。



7. 二条公園鶴池伝説 7分20秒 高瀬辰雄

(作者コメント)

二条城の西北に二条公園があり、その一角に鶴池（ぬえいけ）と呼ばれる小さな池がある。その池には、平安時代、源



頼政が2本の矢で鶴という妖怪を退治したという伝説が残されている。

鶴はトラツグミという鳥の別名で、夜にだけ鳴くそうです。鳴き声はネットから拝借しました。

(書記コメント)

京都にお住いの作者、京都の隅々の伝説を訪ねて、それを作品にされる意欲に脱帽します
今回は、二条城の西北にある二条公園の池にまつわるお話で、源頼政が妖怪を退治したという話。平安時代後期、深夜、天皇の住まいに怪しい鳥の鳴き声がし、近衛天皇が非常に怯えられた。そこで弓の名手である源頼政が射ち落したという話をまとめられたもの。情景描写が長くて、テーマの部分が短かったのが惜しかった。

8. 紅葉を訪ねて 4分12秒 生田幸靖

(作者コメント)

京都にある永観堂の紅葉を作品にしました。

(書記コメント)

京都・永観堂の紅葉を作品にされました。ここは、青紅葉でも人気のあるところですね。紅葉は、天候の具合、陽の当たり具合、被写体の具合等、条件がそろわないと難しいです。頑張ってお作りになりました。紅葉というテーマなら、徹底して「紅葉」に絞った方が更に良くなると思います。



9. 家、ついて行ってイイですか 12分26秒 西村亀雄

(書記コメント)

この作品は、あるテレビ局の番組に作者が出演された時の模様をテレビ局がまとめたものを持参されました。その番組とは、「家、ついて行ってイイですか」副題「レトロ電気店、金婚夫婦に訪れた悲しい別れ」です。このストーリーについて書いてみます。



時は春、桜の季節、電気店を営む、西村亀雄さん、桜の花びらが散った店頭の掃除をしている時に、取材班が訪れます。「インタビューしていいですか」の言葉に誘われて、店頭で花びらを履き集める西村さん、取材班の巧みな話術に物語は進行します。奥さんも登場、二人のなれそめから話は展開します。新婚旅行の話、店頭は満開の桜並木、話は「桜」の話へ。

その「桜の木」持ち主の大阪市が、伐採するという話へ、それが悲しい別れに展開します。

流石、取材班の巧みな話術によって、物語に作り上げていく手法に勉強になりました。そして、取材班の話術に応える西村さん、更に光りました。記念になりましたね。お疲れ様でした。

10. 奈良淡山神社紅葉 3分59秒 道下敏行

(作者コメント)

淡山神社の紅葉が素晴らしいと知り、雨降り後のライトアップされた紅葉と翌日の日中の

紅葉を撮影した。紅葉は全体的に撮影すると美しいが葉に接近して撮影すると綺麗な葉が殆どなく残念であった。見所としては紅葉に陽がある光の変化、水たまりに映った紅葉など、YouTube 公開版である。



(書記コメント)

今年の紅葉は、夏が長すぎたため、良くなかったようだが、淡山神社の紅葉はよく撮れていましたよ。接写画像はよくないと書かれていますが良かったですよ。

例会にもってくる時は、作者名を入れてくださいね。誰の作品かわからないです。